



平成26年11月1日現在	
総世帯数	1,464世帯
総人口	2,743人
男	1,272人
女	1,471人

「館報だいにちく」
発行百号を迎えて

館長 関口 隆男

平成十年四月第一地区公民館、福祉ひろばが完成して、「館報だいにちく」の第一号が発行された。当時館報の名称はスバリ表記の横書きでよかうと年六回発行していた。

平成十六年から写真や記事のスペースを広げたいと、「だいにちく」の縦書きとなり現在に至っている。題字は、江戸時代

公民館報百号までを
ふり返って

委員長 横山 善男

第一地区公民館が平成十年四月に開館し、五月には館報第一号が発行されました。当時の町会連合会会長の征矢野熊男さんの「夢かない念願の公民館」と題した喜びの文章、そして初代公民館長の窪田彰さんの「地域で学び地域に生きた公民館」と題した期待あふれる文章が載っています。このような地域の願いや期待を受けとめて館報の編集に携わり、今日ここに記念すべき百号となったわけです。今まで編集してきた様々な記

から続いた飯田町の私立村上学校の村上忠雄先生と、デザインは横山善男先生の合作である。その内容は皆様に親しまれ読み易い事を中心にと、当初の願いに館やひろばの活動の紹介も加わり豊かになってきている。

平成二十二年に第二地区公民館十周年を迎えて、第六十号迄の合冊版を制作し、この十一月には第百号を迎える。これからは先人の皆様の願いを繋げ、地区の皆さんに親しまれる館報づくりに努めていきたい。

事をふり返ってみますと、公民館やひろばの行事や活動に尽力下さった人達の姿が目に見えられます。夏の盆踊り大会・秋の文化祭・各委員会の企画行事・ユニークな各町会よりの寄稿文など印象深いものばかりであります。

殊に開館十周年記念行事の記念誌編集には関係各位のご協力により完成させることができました。また、第一地区讃歌ができたき上り各所で発表会がもたれ、第一地区のすばらしさが発揮されました。

これらの様々な実績を大切にしながら今後の館報編集に努力してまいります。

思い出のアルバム



子供もちつき大会 (10年)



人権啓発 視察研修 (13年)



開館5周年記念「さわやかコンサート」(14年)



ウォーキングラリー (15年)



子供夏休み宿泊体験学習 (16年)



菅谷市長と語り合う (16年)



田中知事大いに語る (17年)



ガルーダ公演 (25年)



第二地区讃歌発表 (24年)

第17回第二地区文化祭



第二地区公民館・福祉ひろば主催第17回第二地区文化祭が、立冬を過ぎた11月8～9日の2日間開催された。1日目は晴れ、2日目は雨となったが、地区の方々が多く訪れ、見たり、聞いたり、食べたりと楽しいひとときを過ごした。

売れ行き好調でした

お蕎麦、おいしいね



お安くなっています



裏方さん、ごちそうさまでした



「第二地区讃歌」でフィナーレを飾りました



今年も大人気でした



これ私の!



着物を新調しました



野菊の会の発表です



心配ないですよ!



今年も力作が並びました

すすき川

第二地区公民館
報創刊100号の
区切りにアンケ
トを実施したこ
ろ、回収率71.
4%という多くの
回答をいただきました。ありがとうございました。

読者層は男性・女性ともに60歳代と70歳代とで半数を超えていて、50歳代と続いています。男性には90歳代・80歳代の読者も多く、女性には30歳代の方もいらっしゃることは喜びでした。

町会記事と特別寄稿文。それにサークル活動報告が人気で、予想に反して「すすき川」を読んでいる方が男性・女性ともに15%を超えていたことは、多くの方の視線を感じて緊張させられました。

今後取り上げて欲しい記事は、女性が健康料理レシピを一番(36%)として上げ、家族の健康を支えるという思いに感動。男性は町の由来・歴史が44%で一番でした。

その他にも「子どもの作文をのせて」「美しい庭のある家を紹介して」「緊急非常時対策を」などのご意見・ご希望もあり、お褒めの言葉もいただきました。感謝いたします。どちらも今後の励みにいたします。

(井野根)